



かがやきだより

令和4年7月



6月28日、気象台は中国地方が梅雨明けしたとみられると発表しました。今年の梅雨は雨が少ない上に期間が短く、6月14日の梅雨入り発表からわずか14日間という観測史上最短で、その他地域も記録的に短い梅雨となりました。



気象庁が発表する梅雨入りには、私たちの身の安全に関わる大切なメッセージが込められています。それは「大雨の時期に入り、災害が発生しやすくなるので備えを進めてください」というメッセージです。記憶に新しい静岡県熱海市の大規模土石流は昨年（令和3年）7月3日、球磨川が氾濫した熊本豪雨災害は令和2年7月4日、そして忘れられない西日本豪雨災害は4年前（平成30年）の7月6日。共通するのはすべて梅雨の期間中、7月上旬に発生した事です。

梅雨明け宣言を聞くと大雨に対する警戒が緩んでしまう危険があります。しかし戻り梅雨の可能性もあり、梅雨の長い中休みだったという可能性もあります。7月1日に発生した台風4号は沖縄本島を通過し、5日に九州上陸の後に東へ進む予報で、引き続き雨への警戒心と備えは必要です。



ところで話は変わりますが、夕方になるとどこからともなく「夕焼け小焼け」などのメロディやチャイムが流れてきませんか？「暗くなるから子供たちは早く家に帰りましょう」と帰宅を促す合図だと思っている人が多いようですが、これは単なる時報ではなく、市町村防災行政無線のテストとしての意味を持っています。昭和53年から設置・運用開始されたもので、主に市役所・小学校・公民館・公園などに設置されたスピーカーから流れますが、その設備の性質上、常に正しく動くかどうかをチェックする必要があります。しかし頻繁にサイレンを鳴らすとうるさいし、住民を過度に緊張させてしまったり「何かあったのでは？」と誤解を招きやすい事、そして災害時に流れるサイレン・ブザーとハッキリ区別するために、夕方の雰囲気合った、ゆったりしたメロディーを流している地域が多いのだそうです。



因みに何をメロディーとして流すか、また流す時間は各自治体に任されており、全国にはユニークなものが多数あります。例えば福島県須賀川市は朝7時に「ウルトラセブンの歌」。円谷プロの創業者である円谷英二氏の出身地で、7時=セブんだそうです。北海道登別市はお昼12時に「いい湯だな」。歌詞の中に「ここは北国 登別の湯」とあります。長野県南相木村では午後6時に、住民に楽しんでもらいたいという事で「innocent world」「いとしのエリー」「涙そうそう」など、毎月変えているとか。高知県南国市は夕方5時に「手のひらを太陽に」が流れます。この曲の作詞は南国市名誉市民であり「アンパンマン」の作者である、やなせたかし氏です。



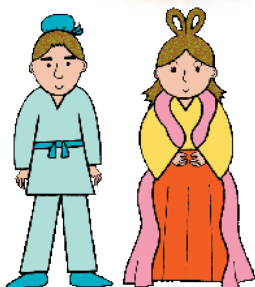
皆さんのお住いの地域は、何時にどんなメロディーが流れますか？(^_^)

6月のかがやきは、できるだけ晴れた日には散歩に出かけ、皆で楽しめる行事「てるてる坊主作りと模擬店」を行いました。皆さまがお元気に過ごされ、嬉しく思います。



令和4年7月・8月の予定

- 7月15日 10:30～ 七夕会兼運営推進会議
落走保育園と合同行事（リモート交流）を行います。
- 8月7日 利用者様 誕生日（94歳）



令和4年7月5日